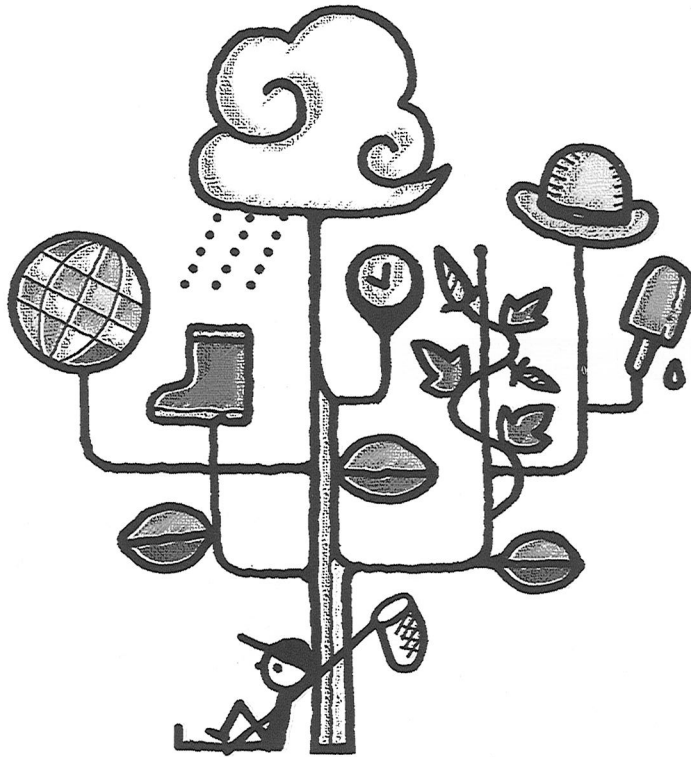


道 教 組

▶ DOKYOSO NEWS vol.504



国会論戦と国民世論が 政府を追い詰めている

道教委柴田新教育長が教育行政執行方針を説明
「えがお署名」で文科省を激励し、財務省に反撃を
夏休み、民間サークルで学びませんか
わたしのとっておき

戦争する国、NO!

国会論戦と国民世論が政府を追い詰めている

5月26日から衆議院平和安全法制特別委員会で審議入りしている「安保法制」。中身を見ると、「我が国の存立が脅かされる事態」だと政府が判断すれば、アメリカが引き起こす先制攻撃に世界中いつでもどこへでも自衛隊を派遣することができる「戦争法案」そのものです。

憲法審査会で3名の憲法学者が「違憲である」と判断したこと、さらに政府が集団的自衛権を合憲の判断根拠にした1959年「砂川事件最高裁判決」や72年の政府見解を持ち出したことで、さらに違憲ムードが高まりました。

結果、6月下旬の共同通信社の世論調査では、約6割の国民が「安保法案に反対」(賛成は約3割)と回答しています。

しかし、都市部に大きく集まることも大切ですが、地方のすみずみにもこの法案の危険性を知らせ、「戦争法案反対」の世論をつくっていくことが、「戦争する国づくり反対」「安倍『教育再生』反対」の運動を組み立てるうえで、とても重要です。

そのため、道教組書記局は6月に入ってから、稚内、空知(岩見沢、美唄、砂川、滝川)、旭川で現地単組や高教組・地域労連とともに宣伝活動を行ってきました。人通りの少ない所もありましたが、車から手を振ってくださる方や、頷きながら訴えを聞いてくださる方、さらには、のぼり旗を見て「先生たちががんばってるね」と声をかけてくださる方もいて、私たちも大いに励まされました。引き続き廃案まで、宣伝活動を広げることが求められています。

全国のとりにくみに連帯して

国会前では座り込み行動、都心部を中心とした大規模集会や学生パレードが、また札幌でも道労連や革新懇、憲法センターなどが中心となって集会やデモ、街頭宣伝が繰り返されています。



全
鋼
路
・
斎
藤
さ
ん
と
上
川
・
中
村
徹
さ
ん
が
参
加



国会前ではあらゆる組織が座り込みを展開



6・6 「稚内大作戦」
(市内5カ所で宣伝)

6・14 滝川市内で訴える
空知教組大竹さん



6・14 旭川駅前
で訴える上川教組中村委員長

札幌では5,500人が 組織の枠を超えて集結

6月20日(土)には、札幌大通公園西8丁目広場にて、「戦争をさせない北海道大集会」が開かれました。道労連や平和フォーラムなど、所属組織や思想信条の違いを超えて全道から5,500人が集い、道教組は30人が参加しました。

主催者に続き、呼びかけ人の3名(北星学園大学教授・岩本一郎さん、さようなら原発1000万人アクション北海道呼びかけ人・麻田信二さん、法政大学教授・山口二郎さん)が発言しました。

お三方はそれぞれの立場から、「戦争法案」は憲法違反であり、国会論議や国民世論で廃案に追い込みつつあること、そして憲法をいかにした平和的外交の努力が、いまの日本にとっても求められていることなどを訴えました。

さらにゲスト発言として、東京新聞編集委員の半田滋さんが、記者として自衛隊の取材を重ねてきた経験を語りました。これまでのイラク戦争等の後方支援でさえ自衛隊員にはリスクがあり、帰国後PTSDによる自殺者を出していることを紹介、この「戦争法案」が成立すれば、なおいっそう隊員へのリスクが高まることは明らかだと指摘しました。

集会後、大通公園から三越前、すすきのを歩いて、終点中島公園までアピールデモをしました。



参加者によるメッセージボード・アピール

さらに同日夕刻、 「北海道教職員集会」に参加

道高教組と北教組が中心となって組織している

「靖国共闘会議」が主催した、「子どもたちに平和な未来を！6・20『教え子を再び戦場に送らない』北海道教職員集会」が北海道教育会館で開かれ、200名を超える教職員が参加しました。



北星学園大・岩本一郎さんによる講演

3つの教職員組合が一堂に ～歴史的な瞬間～

子どもたちに平和な未来を渡したい、子どもたちを戦場に送りたくない、戦争に荷担する教育はしたくない。それは私たち教職員の共通の願いです。いまの「戦争法案」は、私たちの願いを打ち砕くものです。

道教組は道高教組からの呼びかけにより、昼の集会に続き、総勢18名がこの集会に参加しました。北教組・道高教組・道教組の3つの組合が一堂に会したことは歴史的な瞬間でした。

この経験から、教職員組合の協力・共同をいっそう強めることが、あらゆる方面に良い影響力を発揮できるのではないかと思います。

国会会期延長、 9月27日までの長期戦

安倍政権は、当初予定していた法案成立までのロードマップを大幅に変更せざるを得なくなりました。これも野党の追及によりあぶり出された政府答弁のあやふやさと、「この法案は憲法違反」「今国会で成立すべきではない」という国民世論の高まりが安倍政権を追い詰めてきた証です。

会期延長に伴い、たたかいても延長戦に入りました。多忙な学校現場で厳しい状況ですが、「教え子を再び戦場に送らない」ために、一人ひとりに何ができるかを追求し、励まし合いながらがんばりましょう！戦後70年の夏は、これまでにないたたかひの夏になります。

「えがお署名」で文科省を激励し、財務省に反撃を

財務省の小中学校教職員4万2千人の削減要求に対し、衆参文科委員会で35人決議

財務省が公立小中学校の教職員4万2千人の削減を求めていることに対して、参議院文教科科学委員会（6月2日）、衆議院文教科科学委員会（6月4日）は、それぞれ35人学級推進を求める決議を全会一致で可決しました。

これは、教育に背を向け教育予算を削減しようと企む財務省に対する反撃でもあります。

▶ 下村文科大臣が「定数改善をすすめたい」と答弁

畑野議員の質問に対し、下村文科大臣は「衆議院でも参議院でも決議していただき、背中を押していただいていることに感謝する。35人以下学級は、よりきめ細やかな指導が可能となることから、学校現場からの要望も強く、少人数学級の推進は望ましいことは当然」とし、少人数学級の前進について文科省としてとりくんでいくことを「柔軟で効果的な定数改善を早急に進めていくことも必要」「今年度の概算要求に入れることも含めて検討」と答弁しました。

▶ 道議会文教委員の各議員に要請行動「ゆきとどいた教育」の拡充を

6月16日～18日、「ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会」の事務局（道教組・高教組）で



自民党議員との懇談を終えて

文教委員会の各議員に教育全国署名の要求内容で要請を行いました。

自民党・民主党・公明党・結志の会・共産党の各議員10名と面談し、有意義な対話ができました。文教委員の本音も少し聞けましたし、私たちの要求内容についても少しずつ共通理解が進んでいます。野党の議員からは、「この内容は基本的に一致できます」との回答もありました。

今後も、教育全国署名が集約できた段階で道議会に提出し、請願が通るように働きかけを続けていきます。

道議会への請願事項（教育全国署名）

1. 北海道はひとり親家庭が多く、貧困率も急上昇しています。貧困と格差から子どもたちを守るため、来年度の教育予算を増額してください。
2. お金の心配なく学べるよう、教育活動に不可欠な授業料以外の教材費、給食費など、学校教育にかかる保護者負担を軽減して下さい。
3. 道独自の少人数学級拡充をめざし、小・中・高校で順次35人以下学級を実現してください。
4. 学校は地域にとって教育・文化の拠点です。「学校統廃合」は、保護者・地域・住民の声を十分受け止め、機械的に行わないように配慮して下さい。
5. 教職員は、常態化している超過勤務や多忙により子どもと向き合う時間が確保されていません。ゆとりある教育環境をつくるため、教職員を増員してください。
6. 障害のあるすべての子どもたちに適切な支援ができるよう、教職員配置や施設・設備の改善を行ってください。

道教委柴田新教育長が 教育行政執行方針を説明

6月1日に就任した道教委の柴田新教育長は、2定道議会初日の6月16日、平成27年度教育行政執行方針を説明しました。

授業改善と望ましい生活習慣の定着を車の両輪に位置付けた「学力・体力向上運動」、いじめ防止等に関する条例や基本方針に基づくとりくみ、人口減少下にあっても地域の教育の充実を図る効果的な施策の推進をあげました。この内容は従来からの継続方針で、全道の教職員や子どもたちを励ます内容にはなっていません。

また、柴田教育長は、5点の本年度重点政策にとりくむことを表明しました。



学力・体力向上を推進

人口減少下でも地域教育充実

柴田教育長は、教育に臨む基本姿勢として「授業の改善と望ましい生活習慣の定着を車の両輪の位置付けは、かろうじて学力・体力向上運動をすすめるが、いじめの防止に関する条例や基本方針に基づいた取組を進めること、人口減少下にある地域の教育の充実を図るための効果的な施策をすすめていく」と述べた。

本年度の重点政策は、①社会で生きる実践的な力の育成、②豊かな心と健やかな体の育成、③信頼される学校づくりの推進、④望ましい生活習慣の定着、⑤道民カレッジ連携講座の拡充を挙げた。

本年度の重点政策

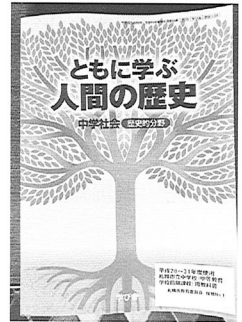
1. 社会で生きる実践的な力の育成
2. 豊かな心と健やかな体の育成
3. 信頼される学校づくりの推進
4. 望ましい生活習慣の定着
5. 道民カレッジ連携講座の拡充

◎ひたすら学力向上路線に執着した道教委方針の継続でいいのでしょうか？

◎道教組・高教組は、柴田教育長と着任交渉を行い、基本姿勢を確認する予定でいます。

全道で中学校教科書展示会開催 自由社・育鵬社は歴史を歪曲

全道215地域で教科書展示会が開催され、書記局の楢木・新保は、札幌市役所の展示会へ行き、教科書を閲覧してきました。



「学び舎」の歴史教科書

今回の注目点は民主的な教科書会社である「学び舎」の歴史教科書が初めて検定を通り、教科書展示会で発表されたことです。内容は、他の教科書に比べ戦争についての資料や記述が豊富で、他の単元でも記述が正確で是非使いたい教科書でした。

一方、自由社・育鵬社の歴史教科書は、天皇美化、大東亜戦争（太平洋戦争）はヨーロッパ列強からアジアを開放した戦争という歴史を歪曲したもので、絶対子どもたちに使わせたくない教科書の内容でした。

旭川の教科書問題学習会で 活発な意見交換

新婦人旭川支部の学習会が6月12日に開催され、新保が参加してきました。

中学校の歴史・公民の教科書を使いながら、昨年検定制度が改悪され、閣議決定や政府見解に基づいた記述でなければ修正や削除が行われることなど説明しました。

参加した11人の会員さんからは、「以前と比べて随分ひどくなったんですね」、小学生2人のお子さんがいるお母さんは、「まちがった認識が学習されたら、子どもたちはどうなるのか」など不安の声が出されました。この学習を参考に、教科書展示会に行き、教育委員会に申し入れも行うそうです。

夏休み、民間サークルで学びませんか

◆全道数学教育研究大会

日 時 7月28日(火)・29日(水)
会 場 札幌市立清田緑小学校
参加費 一般4,000円 学生1,000円
連絡先 沢尻知徳 011-778-5328
info@ami-do.jp

◆北海道作文教育研究北斗・函館大会

日 時 7月27日(月)・28日(火)
会 場 北斗市立浜分小学校
参加費 4,000円
連絡先 辺見真由美(釧路市昭和小)
0154-52-1216

◆北海道歴史教育者協議会夏の集会

日 時 8月1日(土)～3日(月)
会 場 小樽共育の森学園
他 小樽市各所
参加費 教員・一般3,500円 学生1,000円
連絡先 池田(事務局)
dorekkyo.jimukyoku@gmail.com

◆北海道保健サークル研究大会

日 時 8月6日(木)・7日(金)
会 場 とかちプラザ(帯広市西4条南13丁目)
ホテル日航ノースランド帯広
参加費 一般4,000円 会員3,700円
学生2,000円
後 援 北海道教育委員会 帯広市教育委員会

◆全国障害者問題研究会北海道支部夏期学習会

日 時 9月11日(土)・12日(月)
会 場 札幌学院大学

参加費 1日参加 会員1,500円 一般2,000円
2日参加 会員2,500円 一般3,000円
連絡先 事務局
zensyoken_dousibu@yahoo.co.jp

◆自然科学教育研究大会 三笠大会

日 時 7月28日(火)～30日(木)
会 場 三笠市立三笠中学校
参加費 一般3,500円 会員3,000円
学生1,000円
連絡先 三笠中学校 市村 猛樹
01267-2-2066

◆夏の「北海道道徳フォーラム」

日 時 8月17日(月)13時～
会 場 札幌エルプラザ(JR札幌北口前)
参加費 500円
詳細は、dodoutoku.jimdo.com をご覧下さい
問い合わせは、doutoku@gmail.com に

「北海道道徳フォーラム」は、 どんなサークル？

- 学校教育での「道徳教育」のあり方、様々な教育活動と「道徳教育」と関連した実践、「道徳の時間」の授業づくりの学び合いと実践交流を進める
- 夏・冬の年2回、公開フォーラムを開催する
- ホームページ上に、会員の研究・実践の公開・交流の場をつくる
- 連絡・会報(紙・誌)などは、PDF配信として経費をかけない
- その他、参加者の意見を集約しながら研究・交流活動を充実させていく

先生たちが健やかに働くための

ローアン講座 ④

書記長 梶木 康展

道教委の「メンタルヘルス計画」更新

2014年度は道教委の「メンタルヘルス計画」が10年を経過し、新しい10年に向けて見直しを行いました。それに伴い、新たに「年1回の職場研修の実施」「メンタルヘルス・アクションプランの策定」が現場に求められます。

あわせて、総務省が「職員のストレスチェック」を今年12月から義務化することから、文科省通知が出されています。そのため、道教委も対応を求められており、現在策定中です。

チェックの義務化対象は、職員50人以上の職場（高校や特別支援学校）です。50人未満の小中学校は努力義務扱いです。チェック自体は簡単なものになる見込みですが、集計や分析、対策等には経費がかかるので、小中学校は後回しにならないか懸念されます。

「共済だより」で連載スタート、相談員に学校経験者を配置

公立学校共済組合が発行する「共済だより」では、啓蒙活動としてメンタルヘルス関連の連載が始まりました。

また、ホテルライフオート内にある「心の健康相談」には、今年度から学校経験者（退職校長）

が相談員として配置されました。これまでは行政経験者が配置されていましたが、要望により実現しました。

担当課の枠を超えたとりくみを求めたい

学校教職員の労働安全衛生について管轄する課は、道教委の「福利課」です。福利課だけでは、今日の学校教職員の超勤・多忙化解消、さらには健康・衛生問題を解決できないほど、様々な要因が絡み合っています。

学校には「学力・体力向上」「いじめ対策」「メンタルヘルス対策」等々、道教委各課から次々とやるべきことが下ろされています。1つの課から1つの施策が下ろされたとしても、それが複数の課になれば、「足し算式」に現場の業務量が増えます。

道教委はその実態がわかっているのか、全体を調整する能力があるのか、甚だ疑問です。道教委が各課を統率し調整する機構改革をしない限り、教職員の超勤は一向に減らないのではないかと思います。

学校にどれだけの業務量があるのか、その把握と業務調整を道教委の責任において行うよう、教職員の労安の観点から求めていきたいと思います。

編集後記

昨年から、突如教え子と再会する機会が増えました。それも札幌で。長い子では15年ぶり、短い子では6年ぶりくらいでしょうか。

1人は、私がまだ駆け出しの頃、初めて卒業生として送り出した子、児童会で自分たちのやりたいことをかたちにしていく中でみるみる成長して行った子でした。スケート少年団を通して彼の父母や地域の人たちとの関わりも思い出されます。その彼が、私が専従になった5年前から、道教組近くの企業で働いていることが分かりました。世間は狭い！立派な青年、社会人になっていました。

もう1人は特別支援学級で担任した子。小学校を卒業し、早いもので高校3年生に。高等養護学校に進学し、「よさこいソーラン」に打ち込んでいるとのことで、今年、踊る成長した晴れ姿を見ることができました。感動！！

教え子との再会で確信したこと。「平和な世の中をつくること」「若者を戦争に関わらせてはいけないということ」。そんなことを思うなかで、「教師は学校で勉強だけを教えてはいけない」とあらためて強く思いました。この夏のたたかいは、本気度が試されています。（梶木）

わたしのとっておき

“とっておき”の写真・絵・短歌・川柳など紙面で紹介できる作品募集。頁下メールアドレスへご連絡を。



「グラウンド『トルナーレ』」

教員になると同時にサッカーの指導者になりました。渡島管内七飯町の東大沼多目的グラウンド「トルナーレ」です。サッカー日本代表の合宿でも使用されました。週末は未来の日本代表がここで練習しています。

【阿部 伸郎(七飯町大山中小学校)】



「松前公園の桜」

ゴールデンウィークに松前公園の桜を見に行きました。約250種類1万本ある桜の木々に癒されました。機会があれば、是非松前へ。ちなみにこの日の満開の桜で気に入ったのは、「関守(せきもり)」です。

【新田 智子(函館養護学校)】

全教自動車保険

あなたをマモルン見積りキャンペーン実施中

年4回の抽選で全国で計2000名にプレゼント



小納谷部長
(川上企画)



見積り依頼で、
ハーゲンダッツ
ミニカップギフト券を
プレゼントします。
しかも、
今ならご紹介者にも
ギフト券を
プレゼントします。

提携 東京海上日動火災
保険株式会社

全教自動車保険加入にあたっての5つの特長

- ①無事故割引を他の保険会社や一部の共済から引き継げます
- ②保険料は給料引去または口座振替
- ③ご家族の車でも、何台でも加入OK
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

手続き

カンタン

有限会社 川上企画 (道教組指定代理店)

札幌市中央区南大通西12丁目4-78 ウエスト12 1階
フリーダイヤル 0120-222-789 FAX 011-218-2472

道教組

2015年7月1日発行

発行 全北海道教職員組合 発行者 川村安浩 〒060-0909札幌市東区北9条東1丁目 北海道労働センター 3階

TEL(011)742-0101 FAX(011)742-1001 メールアドレス dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.dokyoso.net>